

土の体質検査をしよう

季節：春 - 秋 時間：3 時間

身近な土の体質（土性）とその特徴を知ろう。

準備と注意事項

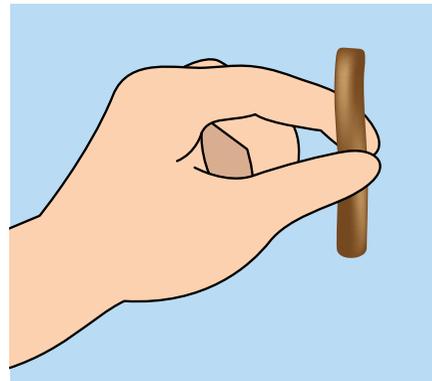
- ・用意するもの：ワークシート、筆記用具、バインダー、ビニール袋、水
- ・服装：動きやすく、汚れても良い服装
- ・注意事項：土を取る前にはその土地の持ち主の許しをもらうこと。

進め方

1. 調べる場所を決める（畑、花だんなど。1グループあたり1～2ヶ所）
2. 決めた場所に行って様子を観察し、ワークシートに記録する。スケッチしたり、写真を撮っておくと良い。
3. 土を少し取ってビニール袋に入れ、適量の水を加えてこねる。
4. こねた土を手に取り、手のひらをすり合わせて棒状にしてみよう。
5. 資料1を参考にして、その土の体質（土性）を判定する。
6. その場所で植物を育てる場合の利点と欠点について、資料2を参考にして考えてみよう。



土をこねている様子



土を棒状にしている様子

資料

資料1 土壌の体質（土性）の区分

土性の区分	触 感	棒状にしてみると
砂 質	ザラザラしてほとんどが砂だけの感じ	棒にならない
壤 質	砂を多く感じるか、あるいは砂と粘土が半々の感じ	なんとか鉛筆ぐらいの太さになる
粘 質	大部分が粘土で、よくこねていくと砂も感じる	マッチ棒ぐらいの太さになる
強 粘 質	ほとんど砂を感じないでヌルヌルした粘土の感じ	コヨリのように細長くなる

（土壌診断の方法と活用、藤原俊六郎ら、農山漁村文化協会、1996を一部改変）

資料2 各土壌の特徴

土性の区分	耕うんの難易	通気性	排水性 （水はけ）	保水力 （水もち）	保肥力 （養分をたくわえる力）
砂 質	易	大	大	小	小
壤 質	易	中	中	中	中
粘 質	やや難	やや小	小	大	やや大
強粘質	難	小	極小	小	大

（土壌診断の方法と活用、藤原俊六郎ら、農山漁村文化協会、1996を一部改変）

参 考

- ・土壌診断の方法と活用（藤原俊六郎ら、農山漁村文化協会、1996）
- ・21世紀を生きるきみたちの環境学習プログラム・小学校中～高学年版（島根県・島根大学 2003）
（HP <http://www.pref.shimane.jp/section/kankyo/ecostudy/>）

土の体質検査をしよう

日時	年 月 日(曜日)	グループ	
時間	時 分~ 時 分	氏名	
天気		特記	

1. 土を採取した場所の記録

地 点	A	B
場所のようす		
土のようす		
その他、 気づいたこと		

2. 粘土^{ねんど}細工のようにして手のひらですり合わせて棒状にしてみましょう。

地 点	A	B
触 感		
粘土細工の結果		
その他、 気づいたこと		
土性の区分		

3. その場所で植物を育てる場合の利点と欠点について考えてみましょう。

地 点	A	B
利 点		
欠 点		
その他、 気づいたこと		